

平成 28 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会アンケート結果

「平成 28 年度第 1 回 IR 実務担当者連絡会」アンケートは、参加者 29 名のうち、スタッフ 9 名を除いた 20 人中 20 人から回答があった。学生へのアンケート調査に関する発表に対して、調査の実例が分かってよかった等の感想が寄せられた。学籍番号も回答させることについては、それにより分析の幅が広がるメリットとともに、記入に難色を示す学内意見や個人情報取扱への懸念というデメリットが後半の質疑応答において議論された。また、本会の特徴である質問・感想票を用いて全ての質問に答え、議論を深めていくスタイルについては、参加者がそれぞれ抱えていた疑問の多くの解決に寄与でき、参加者の満足につながったようである。

今後取り扱ってほしいテーマ・内容には、前回同様に B I (Business Intelligence) ツールの紹介、I R の成功事例、ファクトブック作成やグラフ化のコツについて、また最近の話題として 3 つのポリシーや内部質保証など認証評価など外部評価に関するものについて、それぞれ要望があった。なお、ファクトブック作成については本コンソーシアムの情報誌にも数本の事例報告があるので、参考にしていただければ幸いである。

(藤井 [名古屋大])

平成 28 年 8 月 8 日開催

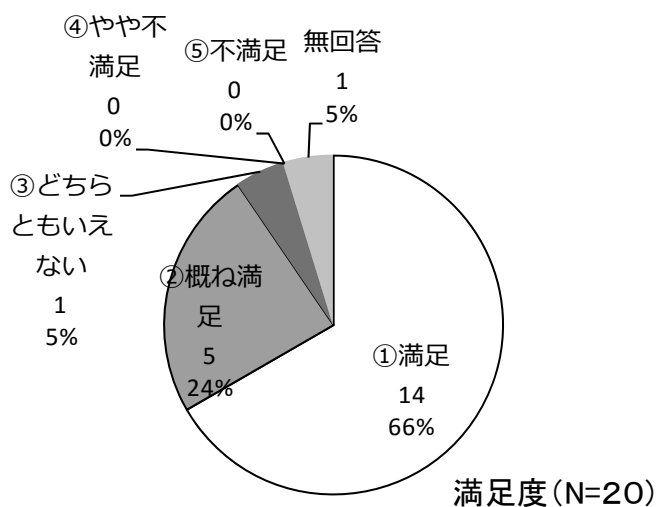


図 1 : 満足度

アンケート結果の詳細

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
1	国	他大学様のデータの取り扱い状況等	—	質疑応答・総合討論で詳細まで説明いただき、また、とりまとめいただき、わかりやすかったです。	データの取りまとめ(グラフ化)の方法等 結果の見せ方 ファクトブック	いつもありがとうございます。
2	私	各大学とも試行錯誤である。	②概ね満足＋ ③どちらともいえない	現場の状況を知ることができた:2 疑問(事前)が解消されなかった:3		浅野先生のとりまとめに感謝いたします。
3	私		②概ね満足	内容、取り組み範囲の異なる報告を聞くことが出来て良かった。また、「質疑応答＋解説(?)」の時間を多く取ってくださったおかげで理解が進んだ。		
4	国	・IRを理解する上で、検討すべき重要な課題(学籍番号と個人情報情報の取扱、アンケート回収率の向上等)と各大学の検討状況	②概ね満足	・私立大学のIRの取組事例の紹介があったこと ・特定の大学とのベンチマークの構築プロセスの実践的知見を得られたこと	・評価とIRの効果的な連携(体制、役割分担) ・大学ポートレートの有効利用方法	
5	私	・学生調査で学籍番号をとることの重要性 IRで使えるデータを増やし、改善方法をより深く考えていく上で必須だと感じました。日本の大学で一般的になって欲しいと思います。 ・大規模大以外でもベンチマークの動きが出てきていること。	②概ね満足	中小規模大学のIRの動向 IRの学内への浸透策	東日本でも開催を増やしていただければ幸いです。	

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
6	私	他大の IR の進捗状況	②概ね満足	参加された大学の方々の状況をもう少し知りたかったと思いました。 DWH 導入はあまり進んでいないようで、そのあたりを詳しく聞ければと思っていたので… (※編集注:DWH=Data Ware House)	BI を活用した学生の分析事例や行動等改善事例	色々と大学の悩みが聞けて良かったです。 ありがとうございました。
7	国	他大学様がどういった IR 業務に取り組んでいるのか、どういった問題があるのか様々な観点から知ることができました。	①満足	IR 体制を構築していく上で、基礎的な部分から後々ぶつかるであろう問題まで幅広く学ぶことができたからです。	<ul style="list-style-type: none"> IR の取り組みで大きな効果が得られたもの IR について集めたデータの保守管理 	貴重なお話ありがとうございました。
8	国	IR 部署で調査を行う上で気をつけないといけないポイントを知ることができた。	①満足	弊学で気付いていない視点からの意見、考え方を知ることができたため。		全体的にかけ足になっているので、できれば時間を拡大していただくとよいのではないかと思います。(1日かけて等)
9	私	実際の担当者の方のお話で大変勉強になりました。 大学の規模によって優先事項が異なるということが改めて分かりました。 Factbook について大変参考になりました。	①満足	“全て”の質問にご回答いただき良かったです。 また、普段の疑問について他大学の状況がその場ですぐ意見を伺うことができ勉強になりました。	日本は“教学 IR”と呼ばれるものが多いため、研究、財務分野に関するテーマを取り扱っていただけると嬉しいです。	ありがとうございました。
10	私	畠田先生が紹介されていた卒業生に設問を用意しておいて個別にヒアリングして集約していくという方法は学内で提案してみようと思います。	①満足	学内で応用するアイデア(上記1)を得ることができたため。	三つのポリシーの見なおしの検証作業に IR がどのように貢献できるか。	
11	私	改めて IR の目的・内容について機関毎に違いがあることが認識できました。	①満足			今後の議論にさらに期待したいと思います。

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
12	私	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の実例を知ることができたので、今回を見本に本学での調査を見直す参考になった。 ・とくに佐賀大学様と早稲田大学様が視点となるものを挙げていただけたのは参考になった。 	①満足	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で充実した内容であったから ・各大学の実状を知ることができたから ・問題点に関する解決 	<ul style="list-style-type: none"> ・IRのデータ収集で使われている書式例(フォーマット例) ・ファクトブックの作成に関するコツのようなもの 	
13	関係機関	IRの事例や問題点など情報収集ができた	①満足	人事交流もとの大学の状況を重ねて、話を聞くことができた。また、仙台のフォーラムにおける浅野先生のお話とつながる部分もあり、初心者なのですが、楽に話を聞くことができた。		連絡会の準備等お疲れさまでした。このような会を開催していただき、ありがとうございました。
14	関係機関		①満足	非公開のデータを見せていただけたこと。S先生の朝ごはんとGPAの関係が興味深かったです。		時間管理のアラームはもう少し小音のほうがいいかもしれません。
15	公	<ul style="list-style-type: none"> ・学籍番号を書いてもらうことの重要性と課題 ・個人情報の取り扱いについて ・データの公表の仕方について ・データ収集の仕方について 	①満足	今年度から初めてIRの仕事を始めましたが、すでに色々課題が出てきている中、今回の催し物で議論された内容は大変満足のものでした。催し物には今回初めて参加させていただきましたが、質疑応答に時間をかけていただくスタイルは素晴らしいと思いました。	今回も議論がなされましたが、個人情報の取り扱いについて、法的な(専門的な)観点から議論ができれば、プレゼンをしていただければ幸いです。	質問に書いていた内容を全て答えていただいて、大満足です。上にも書きましたが、素晴らしい会をありがとうございました。そして今後とも何卒よろしくお願いいたします。
16	公	各大学で同様の課題を持たれていることがわかり、安心した面がありました	①満足	各課題について具体的な報告と集団討論で課題の共有と理解が深まりました。		

ID	属性	1. 得たこと	満足度	2. 満足度の理由	3. 今後取り扱ってほしいテーマ・内容	3. 意見・感想
17	私	モニタリングの断続性（5年分ファクトブック）に関して。アンケートに関する知識に厚みが増しました。	①満足	茨城大の例が参考になりました。	解析結果からの改善例や変更したことに関して。IEについて	本学は未整備のことが多いので、また参加させて下さい。
18	私	学生アンケートの活用、発展方法について、今後のために非常に有用でした。質保証の指標設定	①満足	担当者でなければわからないレベルの話が多く、多くの事例が聞けたことは貴重な機会でした（質問&個別）。本学がIRや評価分野において、どの程度やれているのかのポジションが確認できたことも有用でした。又、体制や組織において様々な事例を紹介頂き、これも参考になった。	教育成果指標の設定方法と有効性の検証	
19	私	・最新の情報(国立大学の第三期中期目標・計画に連動したIRデータの活用・指標の設定プロセス等) ・あまり他では報告をされない大学の事例をお聞きできたこと。 ・学修成果領域のお話もあったこと。	①満足	・各報告も有益でしたが、最後のQ&Aコーナーで量をこなしていただいたのも大変有益であった。	・学修成果の把握、DPへの落とし込みについて ・今後の分野別外部評価のあり方について	
20	私	・一番大きいのは、自らの疑問点を全て回答いただいたこと。これが得られたものでは一番大きかったです。 ・新たにIRに関する視点や気づきを得られました。	①満足	疑問点が解消されたことが満足度に影響しています。	・次期の認証評価について ・内部質保証の中での大学執行部の役割と責任について ・中期計画などの評価指標の設定方法について	

国：国立大学 私：私立大学

以上